

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
 会長 小川 和 昭
 編集：広報委員会
 監修：ひたちなか市環境保全課

環境かわら版

100万人のキャンドルナイト in ひたちなか 6月22日(土) 17:00~

時折の降雨に開催も危ぶまれましたが、6月22日勝田駅東口「憩いの広場」にてキャンドルナイトを開催しました。天候を考えスケジュールを短縮しましたがキャンドルが灯され、間伐竹で作った竹ぼっくりやぶんぶんゴマに興じる子供たちの笑顔があふれました。環境劇ではストリップ温暖化に向け身近なところから「脱プラスチック」を心がげようのメッセージを込めた「かくや姫のキャンドルナイト」が演じられました。

将生くん(小3)歩実ちゃん(小1)と共に会場を訪れた市内在住、岡本さんは「親子で笹に短冊を付けました。息子が地球のためにゴミを減らすと言っています。子どもにこの機に環境についての問いかけが出来てとてもよかったです。子どもたちと楽しい夏至の夜がすごせました」と笑顔で話されました。

夏至の夜のひと時、環境に思いをはせるイベントとなりました。



環境劇のワンカット
 間伐竹のキャンドルも活躍



竹に短冊を付ける来場者

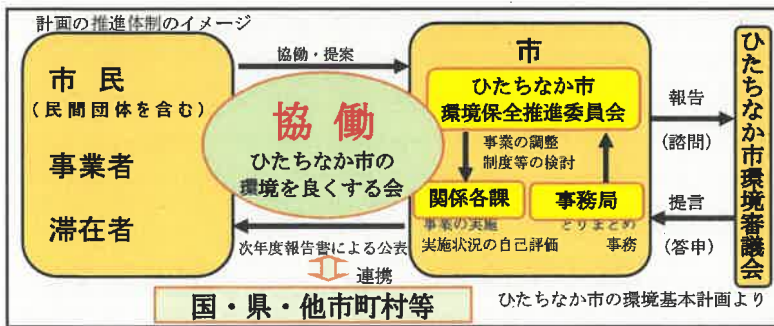
Candle Night キャンドルナイト

環境四季時計「夏祭り」

主催 未来ネットワークひたちなか・ま
 共催 おやこ劇場ゆめひろば
 ひたちなか市の環境を良くする会



短冊には環境についてのメッセージ



本会は、「ひたちなか市環境基本計画」に基づいて設立され、市民の身近な自然や環境を大切にすることを育むこと、環境保全行動の定着を図ることを目的に活動しています。具体的には、ごみ問題、地球温暖化防止、自然環境保全のテーマ毎に取組を計画し活動を行っています。

問合せ・申込先：ひたちなか市環境保全課
 ☎273-0111 (内線 3312、3313)

ひたちなか市の環境を良くする会 検索

「緑のカーテン」 私たちも取組んでいます ①

特別養護老人ホーム いくり苑

いくり苑では、緑のカーテンを始めて今年で6年目を迎えます。はじめは、西日があたる部屋を涼しくする目的で緑のカーテンを試みました。

最初にゴーヤや朝顔を試しました。その後西洋アサガオのケープタウンブルーを見つけ栽培したところ葉が大きく茂り、しかも花がきれいでブルーの花がとてもしかし感じることから、それ以来、毎年ケープタウンブルーを植えています(下の写真)。お年寄りの方々の癒しにもなり心地よい緑だと思えます。

利用者様のご家族の方から、花の名前を聞かれたり、最近では、苗をお分けし見事に咲かせたことで喜んでもらったりしています。

今年、いくり苑では50㎡の緑のカーテンを設置しました。また、今年も高齢者やご家族、町の方々の癒しになれば幸いと感じております。



篠竹を活用した緑のカーテン支柱作り

緑のカーテン」の講習会開催
5月18日(土)ぶあみ(市)のほいで、エコでお財布にもやさしく、しかも収穫が楽しめる「エコな緑のカーテンづくり」講習会を初心者対象に開催し、16名が参加しました。
会員の講師から緑のカーテンについて「省エネ」「きれい」「食べられる」等のメリットと共に、「後始末が大変」「陰になるので防犯が心配」等のデメリットに対する対策や、県内における取り組み状況について説明がありました。その後、全員で篠竹を利用した緑のカーテンの支柱作りを体験しました(上写真)。
最後に、「ゴーヤ」「琉球アサガオ」「ナタマメ」「アケビ」などの植え方の注意点を聞き、帰宅後すぐに植えられるようにと用意された苗を、各自持ち帰りました。

「緑のカーテン」の募集
本会では、今年も省エネ・温暖化対策のため、第5回「緑のカーテンでエコチャレンジ」を実施中です。育成中の「緑のカーテン」の写真とともに育成面積や感想などを応募用紙に記入し8月中旬にご応募ください。11月に開かれる「みんなの消費生活展」で集計結果を報告します。
昨年は、91件の応募があり総育成面積は1,718㎡でした。会では昨年を上回る応募者をお待ちしています。送付先(郵送の場合)
〒312-8501 ひたちなか市東石川2-10-1 ひたちなか市役所環境保全課
応募用紙は、各地域のコミュニティセンター等に置いてあります。詳しくは、会までお問い合わせください。
080-1194-3207(山形)

わがまちの環境活動

森のボランティア茨城

「森のボランティア茨城」は平成20年6月に設立され、地域毎に「森ボランティア育成講座」を開催し、講座修了生の新しい森林ボランティアグループ設立を支援することで県内の森林ボランティア活動の振興を図ろうとするものです。既に県内に12の新しいグループの設立を果たし高い評価を得ています。

ひたちなか市においては、本郷台にあるNPO法人「くらし協同館なかよし」の森づくりグループの指導を依頼され、森の整備を指導しています。対象の森林は雑木の林で、子供達に森林体験させることを目指しています。

篠を刈払い、倒木・枯木を始末すると森は生き生きと蘇ってきます。子供の体験会では歓声がこだまします。

今年度は、親水性中央公園の森の一部の整備を市公園緑地課から依頼を受けています。

(中村栄三)





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



環境かわら版 31号（3月25日発行）にてSDGs（エスディーゼズ）について簡単に紹介しました。SDGsとは、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことで、社会が抱える貧困、不平等や気候変動などの問題を解決し、世界全体で2030年を目指して明るい未来を作るための17のゴール（目標）と169のターゲット（達成基準）で構成されています。世界全体という自分との関係性がつかめないかもしれませんが、実はSDGsは私たちの身近な問題にも関係しています。皆様にイメージしやすいようにひたちなか市の環境を良くする会の活動を例に、SDGsとのつながりを紹介したいと思います。

ひたちなか市第2次環境基本計画改定において積極的に推進すべき重点施策として、①バイオマス資源利活用推進事業、②環境学習推進事業、③早戸川水質改善推進事業の3つがあります。

ひたちなか市の環境を良くする会では①バイオマス資源利活用推進事業の中で、生ごみの堆肥化推進に効果が期待できる「段ボールコンポスト」の普及活動を市民に対し1～2回/年行っています。「段ボールコンポスト」とは、段ボールで手軽に堆肥が作れるもので、生ごみが堆肥（バイオマス資源）になり廃棄物の発生が削減できます。

上記取り組みはSDGs17のゴール（目標）に当てはめるとNo.12「持続可能な消費と生産のパターンを確保する（つくる責任つかう責任）」に該当します。このゴールにはさらにターゲット（達成基準）があり、「12.5 廃棄物の発生を減らす」（下表参照）につながっています。

17のゴール（目標）	169のターゲット（達成基準）	
12 つくる責任 つかう責任	12.5 廃棄物の発生を減らす	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

「段ボールコンポスト」が広まることでNo.12のゴール達成に貢献できると考えられます。

「段ボールコンポスト」講習会では、微生物が生ごみを分解するしくみ、段ボールコンポストの作成方法や臭気の不安解決についてわかりやすく説明します。家庭から出る生ごみを減らしたい方、生ごみの堆肥化、SDGsなどに興味がある方は本会にお問い合わせください。



年間800万トンのプラスチックゴミが海に流れ出ています



平成31年度総会開催

4月20日（土）ワークプラザ勝田で、市長・経済環境部長に出席いただき、総会を開催しました。（出席43名、委任25名）。

平成30年度事業報告、及び、平成31年度事業計画及び予算について審議が行われ、すべての議案が原案通り可決されました。

質疑応答では、早戸川の現状やオオキンケイギクの処理方法などについて質問があり事務局が回答しました。総会閉会后、懇親会にて意見交換を行いました。

自然観察会



5月12日(日)多良崎城跡
 今回の自然観察会は日立市、鉾田市、那珂市、東海村からの参加者があり全員で35名でした。講師は茂垣はるえ先生(NHKカルチャースクール生物担当)。さらに、スタッフの幡谷氏は野鳥、後藤氏はきのこ、川又氏は蝶を担当しました。今回初めて小学生2名

が参加し、ノート片手にスケッチしながら先生と一緒に歩きました。まず一の木戸、二の木戸にはチゴユリ、アカネオオトンボソウなどが見られました。本郭跡では真絶滅危惧種の花は遅れており、二の郭跡でも同じ傾向でした。ここで盗掘跡が見られました。三の郭跡ではヒメコ、ニガナ、ナツトウダイ、オオバボウシが見られ、そしてここへの入口の土塁脇に、サルノコシカケの一種で珍

しいキノコがありました。三の郭跡の先にある篠の刈り取り現場も見てもらいました。烽火台ではフデリンドウの群落があり、花は付けていませんでした。そしてもう一つの群落は盗掘されていきました。ケブカツルカケソウ、ムラサキザキゴケなどがありました。今年は花が少ない観察会となりました。(黒澤)

特定外来生物(植物)

「オオキンケイギク」除去

さわ野村自治会と協働活動

5月19日(日)佐和地区
 さわ野村自治会と協働活動として、「オオキンケイギク」が繁殖しており、さわ野村自治会と県・市職員・本会会員が協働で除去作業を行いました。さわ野村自治会から多くの方が参加され、35名で39袋(45ℓ入り)を除去しました。



今年、開花が遅く葉の特徴を確認しながら、道路法面の傾斜地で雑草に囲まれ足を気にしながら、根から抜き取り除去作業を行いました。

会員だより

環境を良くする会メンバーはとも明るく久しぶりの参加でもいつもあたたかく迎えてくれます。この会に入って良かったと思うのは、みんながそれぞれ楽しみながら環境に優しい生活を実践していることです。決して難しいことをするのではなく、自分が無理なくできる範囲でやるのが、長続きするコツであることも実感しています。

これからの活動予定

◆そば栽培体験

日時：8月17日(土)9時30分～
 9/21(土), 11/4(月)
 11/13(水), 11/23(土)

場所：美田多地区

参加費：無料

問合せ：090-6029-8175(栗田)

◆緑のカーテン募集 2面参照

◆環境ポスター募集 9月13日締切

応募先：市環境保全課

◆森林保全活動

日程：10月～3月 第3土曜日

時間：9時30分～正午

場所：美田多地区

連絡先：090-2565-2634(磯前)

◆段ボールコンポスト講習会

11月予定

◎環境出前講座を開催します。

ご希望の方はご連絡ください。

段ボールコンポスト、食と環境、再生可能

エネルギー体験、自然環境保護、竹の工作

連絡先：090-8646-0511(小川)

私は家庭生ごみや給食残渣の堆肥作りに参加したことがきっかけとなり、家で出来る段ボールコンポスト作りをしています。我が家の焼却ゴミが減り軽くなりました。二年になりましたが、6人家族の一日の生ごみ約300グラムを毎日堆肥化しているので、この三年間で約330キロ生ごみ削減が出来ました！(吉江)

ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

<p>私たちは、  美しい地球を次の世代へ のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 朝日製作所水戸事業所</p>	<p>廃棄物の中間処理施設  KATSUTA 株式会社 カツタ ひたちなか市高野1968-2 TEL(029)270-3711 http://www.eco-katsuta.com/</p>	<p> 人と自然への思いやりを大切に 勝田環境 KATSUTA KANKYO</p>	<p> セイワ ひたちなか馬渡店</p>	<p> デザイン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.maki-planning.com/ プロが選ぶガーデン造りの専門店 Mam's garden http://www.mamsgarden.com/</p>	<p> 社会福祉法人 いっぴ</p>
<p> HiKOKI 工機ホールディングス(株)</p>	<p> ひたちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひたちなか市新光町103-2 TEL(029)265-5371</p>	<p> リコーインダストリー(株) 勝田事業所 ひたちなか市美田1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>	<p> Bio Power 木質バイオマス発電所 (株) バイオパワー勝田 ひたちなか市高野1974-1 TEL029-270-3341</p>		